

地域密着型金融推進計画（平成29年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、中小企業者や個人のお客さまの事業にかかる事業性評価を適切に行い、コンサルティング機能を発揮した金融の円滑化などの支援、地方公共団体との連携による地方版総合戦略推進への積極的な参画、地域の皆さまへの積極的な情報発信、皆さまからのご意見の収集など地域金融機関として様々な施策に取り組んでいます。

これらを実践していくために、本部と営業店が一体となり情報の共有化を図るとともに、お客さまの立場にたった適切な経営相談や経営支援等のため、役職員のレベルアップに向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取り組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信金中金、群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫等との連携強化 <p>・制度融資の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・創業支援の強化やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化による顧客基盤の拡充を図っていく。 ・制度融資を積極的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年9月2日の自主勉強会で創業の取組事例を営業店が発表し、創業支援の意義を改めて認識するとともに事業を成功させるための支援のノウハウなどを学びました。また、創業者向けの融資に対し、日本政策金融公庫と連携しています。 ・次代を担う企業家や企業家精神を持った人材を発掘していく「群馬イノベーションアワード2017」に協賛しています。 ・当金庫プロパーによる創業者支援資金の実績は18件372百万円です。 ・平成29年度実績は6件27百万円です。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者向けの新商品開発 ・ 発明協会との連携強化 <p>(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ビジネスマッチングの実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 創業者向けの新商品開発を検討する。 ・ 地域の発明協会等との連携を強化する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 信金中金優待カタログへの掲載希望を募り、お客様の商品を案内していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・ しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本政策金融公庫と創業者向けの新商品開発を検討しています。 ・ 渋川市発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に協賛し10月11日の表彰式において、「北群馬信用金庫理事長賞」の授与を行いました。 ・ 信金中金を介したアマゾンジャパンとのビジネスマッチング企画へ1社のエントリーを行い、商談が成立しました。 ・ 1月18日に開催された「ぐんま地場産業フェスタ2018inTOKYO」で、取引先13社の出展サポートを行いました。 ・ 3月15日、16日に開催された城南信用金庫主催の「2018 全国！うまいもん発掘大商談会」で取引先4社の出展を支援しました。 ・ 信金中金優待カタログへの掲載希望を募り、1社の商品をエントリーしたものの、採用に至りませんでした。 ・ 8月22、23日に開催された城南信用金庫主催の「2017 “よい仕事おこし” フェア」に渋川伊香保 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 ・外部機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 ・引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 ・群馬県産業支援機構内にある、よろず支援拠点・中小企業再生支援協議会及び事業引継センター等と連携し、企業のライフステージにあった情報や支援を行っていく。 	<p>温泉観光協会の出展支援を行いました。イベントステージでは、伊香保温泉の芸者衆による踊りとお客様参加方式でのお座敷遊びを披露し、会場を盛り上げました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢を整え取り組んでいます。 ・群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等を行っています。 当金庫では、14名のサポーターによる中小企業者への事業性評価の取組みにより、コンサルティング機能の発揮に努め、中小企業者への経営支援を行っています。 ・当金庫と群馬県よろず支援拠点共催による出張定期相談会を、平成29年5月から吾妻支店、6月から渋川南支店で毎月1回実施しています（平成29年度の相談累計件数 吾妻支店27件、渋川南支店37件）。また、2月8日に渋川南支店、2月15日に吾妻支店で「補助金セミナー」を開催し、計40名が補助金の活用方法等を学びました。 ・事業引継ぎ支援センターのマッチングコーディネーター登録及び事業承継ヒアリングシートを使用したアンケートを実施し、26先から回答を得まし 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<p>(3) 経営改善が必要な顧客企業等</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善が必要な企業に対する取組の強化 	<ul style="list-style-type: none"> 農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取組む。 	<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> 中小企業基盤整備機構及び事業引継ぎ支援センターを活用した「事業承継セミナー」を2月22日に開催し95名が参加しました。その後、事業引継ぎ支援センターによる「事業承継個別相談会」を実施し、8組が相談会に参加するなど、事業承継に対する支援を行いました。 群馬県農業信用基金協会による保証及び日本政策金融公庫の証券化による融資により、農業者向け融資を取扱っています。平成29年度は群馬県農業信用基金協会の保証を得て7件25,340千円を実行しました。 経営改善が必要な顧客企業に対しては、顧客企業の経営目標の実現や経営課題の解決のための支援として、本部・営業店との連携や群馬県中小企業再生支援協議会等の外部機関も活用し、経営改善計画書の策定・再策定支援に積極的に取り組んでいます。 当金庫は「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき、経営革新等支援機関に認定されています。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで積極的に取組む。そして、条件変更後も当該企業が真に経営改善できるようきめ細かく支援していく。 ・企業の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、営業店と本部（地域サポート部・融資部）が一体となり積極的な経営支援を行う。 ・上記の経営支援により債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンの防止を図る。 ・群馬県中小企業再生支援協議会や群馬県中小企業診断士協会等の外部機関と連携を強化する。また、関係する金融機関とも連携を図り、経営支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の一環として、条件変更が必要な先について、中小企業再生支援協議会及び群馬県経営サポート会議を活用し、経営改善計画書策定支援を積極的に行い、実態に合った返済計画への変更を行っています。実績として条件変更債権は平成29年度614件7,850百万円の取扱です。 ・定期的なモニタリングの実施により、コンサルティング機能を更に発揮し、顧客企業の経営改善に向けたソリューションの提言や営業店を臨店し指導を行っています。営業店担当者とともに支援先企業（10先）の経営改善に取り組んでいます。 ・上記の顧客企業を訪問して実態把握や業況の変化を見落とさないように努めるとともに、経営者からの本音を聞き出し現状直面している問題点を一つ一つ解決する。今年度はランクダウンの未然防止を図りつつ、1先の債務者区分ランクアップを行いました。 ・今年度、中小企業再生支援協議会等と新たに連携した先はありませんが、既に連携して経営支援等を行っている先については引き続き全力で対応しています。外部機関と連携態勢は構築されています。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<ul style="list-style-type: none"> ・アパートローン及び太陽光関連の大口融資先等への期中管理、支援の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートローン及び太陽光関連の大口融資先に対しては、管理表に基づき期中管理、支援を強化していく。また、その情報については、面談シート等を活用し、融資部と地域サポート部・資産査定委員会で情報を共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アパートローンについては、主な管理先 40 先について賃料収入の状況、空室状況、修繕費の積立状況などの管理を中心に、太陽光関連融資については、主な管理先 26 先について売電収入の状況、再投資費用の積立状況を管理しています。また、面談シートを活用して、お客さまの抱える課題、情報等を融資部、地域サポート部、資産査定委員会で共有しています。 	
<p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生の早期着手に向けた取組の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定支援を行う。 ・貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、当金庫で抜本的な経営改善計画書の策定支援を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会及び中小企業診断士協会等の外部機関とも連携を図り、事業再生のための経営再建計画の策定支援を行っています。 ・抜本的な事業再生により、経営改善が見込まれる顧客企業には、群馬県中小企業再生支援協議会等と連携して取り組んでいます。 	
<p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の持続可能性の見極め 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業に向けた経営者の意欲、事業環境等を見極めて事業の持 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続可能性の見極めについては、事業計画 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み ・事業譲渡・譲受の積極的な相談業への取組み 	<p>続可能性を慎重かつ十分に検討する。なお、その場合経営者の生活再建及び取引先への影響をも考慮する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業引継ぎ支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き(株)朝日信託との連携を図っていく。 ・群馬県よろず支援拠点や事業引継ぎ支援センター（群馬県産業支援機構内）、しんきんキャピタル(株)等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) 	<p>に向けた経営者の意欲、また、経営者の生活再建や当該企業の取引先等への影響などを考慮し、慎重かつ十分な検討を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後継者の有無確認や円滑な事業承継を促し、地域経済の維持、活性化を目指すため、事業引継ぎ支援センターの群馬県事業承継ネットワーク構築事業及び、マッチングコーディネーターに登録を行い、事業引継ぎ支援やM&Aなどの案件に対応する態勢を整えています。また、事業承継について各種セミナー等に参加しています。 ・8月から10月にかけて、群馬県事業承継ネットワーク構築事業により、高齢の中小企業経営者に事業承継を促すための事業承継ヒアリングシートを使用したアンケートを実施し、26先から回答を得ました。 ・中小企業基盤整備機構及び事業引継ぎ支援センターを活用した「事業承継セミナー」を2月22日に開催し95名が参加しました。その後、事業引継ぎ支援センターによる「事業承継個別相談会」を実施し、8組が相談会に参加するなど、事業承継に対する支援を行いました。 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<p>(7) 事業性評価の適切な取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価の適切な取組みと企業ライフステージの見極めによる支援 ・ローカルベンチマーク及び経営課題解決スコアリング表を活用した融資を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の強み・弱みを把握し、持続可能性や成長可能性を適切に評価し、企業のライフステージに合致した支援を行う。 ・ローカルベンチマーク及びヒアリングシート等を活用し、事業性評価に基づいた融資を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価先 25 先を選定し、事業の強み・弱みを把握し、持続可能性や成長可能性を適切に評価し、企業のライフステージに合致した支援に努めています。 ・事業性評価先 25 先に対し、経済産業省が公表した、企業との対話を図る為のツールであるローカルベンチマークを作成し、真の経営課題を探り解決支援を実施しています。なお、対象先のうち 10 先は外部専門機関を利用した課題解決に取り組んでいます。 ・平成 29 年度 事業性評価に基づく融資 先数 16 先 実行金額 714,221 千円 融資残高 1,674,102 千円 	
<p>(8) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資金使途と返済財源の関係を踏まえた融資を行う。なお、原則として運転資金は短期融資で対応していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資金使途と返済財源の関係を踏まえ、お客さまニーズに基づいた融資を行っています。なお、原則として運転資金は短期資金で対応しており、事業先の運転資金に占める短期資金の割合は 14.85%です。 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュフローを重視した融資 	<ul style="list-style-type: none"> ・担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業績推移表に事業性評価に関する事項を記載し、事業を適切に評価することで、過度に担保・保証に依存せず、キャッシュフロー及び有利子負債償還年数等を重視した審査を行っています。また、ABLによる融資を行っています。 ・平成29年度ABL実績 <ul style="list-style-type: none"> 動産譲渡担保融資 32件 2,983百万円 債権譲渡担保融資 32件 2,983百万円 	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種制度融資の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。 ・市町村小口資金を積極的に活用していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度実績 <ul style="list-style-type: none"> 小規模企業事業資金 128件 523百万円 群馬県経営サポート資金 11件 178百万円 ・平成29年度実績 <ul style="list-style-type: none"> 市町村小口資金 144件 759百万円 	
<ul style="list-style-type: none"> ・条件変更先に対する新規融資 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング機能を発揮し、平成29年度は条件変更先に対する新規融資を355件2,805百万円実行しました。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・「経営者保証に関するガイドライン」に則った融資慣行の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを活用し、保証の必要性の有無を判断するとともに、担保・保証に過度に依存しない融資を行う。また、お客さまへ十分説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業資金の申込については「経営者保証等の必要性に関するチェックリスト」を活用し、お客さまに説明した上で、経営者保証の要否を判断しています。 なお、平成29年度の新規融資に占める経営者保証 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<p>(9) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み</p> <p>・人材育成</p>	<p>・事業性評価を適切に行ったうえでの支援を行っていただくための業界団体研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。</p> <p>・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナーなどの資格取得により相談業務の充実を図る。</p> <p>・企業経営者等との対話力、折衝力強化のため毎月2回（4月、10月は除く）の自主勉強会の実施（現場力の強化、職員のレベルアップ）。</p>	<p>に依存しない融資の割合は 27.7%（件数ベース）です。</p> <p>・毎月2回土曜日に開催している自主勉強会において、6月3日に「事業性評価について」をテーマに実施し、45名の職員が参加しました。1月13日は「事業性評価の仕組みやソリューション提案」をテーマに38名の職員が参加しました。銀行業務検定「事業性評価3級」の合格者は延べ28名となりました。</p> <p>・6月22、23日に開催された外部研修（支援力向上セミナー）に3名の職員を派遣しました。</p> <p>・ファイナンシャルプランナー2級取得者 46名 医療経営士取得者 1名 相続診断士 1名 通信講座受講者 26名 履修研修受講者 117名</p> <p>・毎月2回自主勉強会実施（4月、10月は除く）平成30年3月末で20回開催してお客様との対話力、折衝力強化を図っています。</p>	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方創生「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係わる金融支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・地方自治体が策定した「地方版総合戦略」の推進に対し、当金庫が保有する機能を発揮し積極的に参画していく。 ・渋川市が地方創生の一環として行っている、ふるさと納税をされた方への返礼品の1つであるふるさと感謝券の換金事務を行う。 ・地方公共団体への融資については、地域貢献を念頭に置き、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・渋川市との包括連携協定に基づき、信用金庫のネットワークを利用して、伊香保温泉等への観光客の誘致。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月にシティープロモーション「しながわ運河祭り（東京）」に職員を14名派遣しました。 ・渋川市との「連携協力に関する包括協定」に基づき、8月17日及び12月12日に同市職員と情報を共有するため意見交換会を実施しました（30年5月には市長と当金庫理事長の意見交換も実施予定）。企業支援や雇用創出など地域活性化に資するとともに、市民サービスの向上に協力しています。 ・本店営業部、同中央出張所、伊香保支店、子持支店、渋川南支店の5店舗にてふるさと感謝券の換金事務を行っています。 ・地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。他行との金利競争もありましたが、平成29年度は8件841百万円の融資実行となりました。 ・8月22、23日に開催された城南信用金庫主催の「2017“よい仕事おこし”フェア」へ渋川伊香保温泉観光協会の出展を支援しPR活動を行いました。 ・3月15日、16日に開催された城南信用金庫主催の 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税理士による税務相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ぐーちょきパスポート、交通安全協会会員証、健康事業所宣言証、ぐんま結婚応援パスポートのいずれかを提示した場合は、通常の融資金利より優遇した対応を行う。 ・ 太陽光発電などの自然エネルギーを利用した発電設備資金に対するリフォームローンの金利優遇。 ・ 渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 ・ 毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。なお、定期的にお客様を対象に「税務相談セミナー」を開催していく。 	<p>「2018 全国！うまいもん発掘大商談会」で取引先4社の出展を支援しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年度も環境配慮特典による金利優遇他、ぐーちょきパスポートなどの提示やWeb申込の場合での金利優遇を継続しています。 <p>平成29年度実績 139件 285百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための「きたしんリフォームプラン」に優遇金利を設けています。 ・ 平成29年度実績 <p>きたしんリフォームプラン 1件 1百万円</p> <p>当金庫プロパーによる太陽光関連融資の実行件数及び実行金額 92件 3,830百万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 渋川広域ものづくり協議会の活動等に協賛しています。 ・ 平成29年度中の相談内容は、贈与税20件、相続税24件、所得税16件、法人税5件、譲渡14件、他18件、合計97件でした。 ・ 相続税節税の失敗事例をテーマとした税理士によ 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保険労務士による年金相談会 ・ 金庫職員等による金融知識の普及 ・ 交通安全指導の実施 ・ 町内道路清掃活動への参加 ・ 地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会保険労務士による年金相談会を実施（年間 14 回）していく。 ・ 金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・ 登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・ 休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・ 地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典等に積極的に参加していく。 	<p>る「税務相談セミナー」を営業店のある地域において5回開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月1回（6月、2月は2回）、営業店別では本店営業部で3回、吾妻支店、吉岡支店、渋川南支店で各2回、草津支店、中之条支店、嬭恋支店、前橋支店、沼田支店で各1回の計14回実施しました。 ・ 平成29年11月24日に外部機関より講師を招き、金庫地域の小学校にて金融知識の普及のための講話を行いました。 ・ 渋川市内4ヶ所と嬭恋村内2ヶ所にて継続的に実施しています。幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝のことも頂いています。 ・ 多くの職員を参加させるなど地域の道路周辺美化に努めています。 ・ 「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、地域住民の方々からは、そろいのゆかたや法被が定評となっており、当金庫の参加を期待されています。また、ボランティアスタッフとして4 	

	具体的取り組み策	進捗状況	備考
		29年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ・営業店の高齢者等対応店舗への改装 ・認知症サポーターによる支援充実 ・がん検診普及のピンクリボン運動の実施。 <p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 ・役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動の実施を継続していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・当金庫の経営情報や地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に発信していく。 	<p>月23日に開催された「前橋・渋川シティマラソン」に33名が参加したほか、11月3日に開催された「ぐんまマラソン」に前橋支店職員がボランティアスタッフとして参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の利便性向上を図るため、スロープ等の対応を図っています。 ・2店舗において、障がい者用の駐車場を設置しました。 ・全ATMに荷物置き台及び杖立を設置しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・「全役職員が認知症サポーター」という体制で、お客さま支援及び満足度の向上のため、各営業店において認知症サポーターとしての知識を実践しています。 ・女性職員全員でピンクリボンバッジを制服に着けて、がん検診等の受診率向上に努めました。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域密着型金融の取組み状況、リスク管理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に情報発信していま 	

	具 体 的 取 り 組 み 策	進 捗 状 況	備 考
		2 9 年 度 実 績	
<ul style="list-style-type: none"> ・お客さまのご意見の反映等 	<ul style="list-style-type: none"> ・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。 	<p>す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・窓口や渉外担当者に寄せられる意見や、しんきん会等で寄せられる意見について、本部・営業店で情報を共有しています。 ・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていただきます。 	